



## 平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 梅の花

コード番号 7604

URL <http://www.umenohana.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅野 重俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼  
海外事業部長 (氏名) 上村 正幸

(TEL) 0942-38-3440

四半期報告書提出予定日 平成22年8月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年9月期第3四半期の連結業績（平成21年10月1日～平成22年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	21,884	0.9	620	100.0	512	956.1	346	135.0
21年9月期第3四半期	21,699	—	310	—	48	—	147	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第3四半期	6,006.27	—
21年9月期第3四半期	2,556.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第3四半期	19,953	3,638	18.2	62,843.02
21年9月期	18,709	3,320	17.7	57,316.93

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 3,626百万円 21年9月期 3,307百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	500.00	500.00
22年9月期	—	0.00	—	—	—
22年9月期（予想）	—	—	—	500.00	500.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成22年9月期の連結業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,703	△2.2	503	110.6	263	—	136	—	2,358.96

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	57,700株	21年9月期	57,700株
22年9月期3Q	一株	21年9月期	一株
22年9月期3Q	57,700株	21年9月期3Q	57,700株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「1.（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、景気が着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が整いつつあると言われている中、失業率は高水準にあるなど依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは「熱さ、スピード、タイミング」を重視した料理の提供と「心からの笑顔で本当に心からサービスする」ことを心掛けて取り組んでまいりました。

販売強化策として、2月の節分で「恵方寿司」、3月は雛祭りにちなんだ「ちらし寿司」の販売にグループ全体で取り組みました。また、外食事業においては2ヶ月毎に販売コンテストを開催し売上高の拡大を図りました。

店舗の出退店につきましては、外食事業3店舗出店、テイクアウト事業7店舗出店及び1店舗退店、当第3四半期末の店舗数は、236店舗（F. C. 店1店舗含む）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高218億84百万円（前年同期比100.9%）、営業利益6億20百万円（前年同期比200.0%）、経常利益5億12百万円（前年同期は経常利益48百万円）、四半期純利益3億46百万円（前年同期比235.0%）となりました。

なお、事業別セグメントの状況は次のとおりであります。

#### (外食事業)

広告販促手段をテレビコマーシャルに重点を置き、記憶に残る内容で「料亭と居酒屋の中間」という店舗イメージを発信し、気軽にご来店頂けるお店をアピールいたしました。また、夜の来客数の増加を目的として、一部の店舗で昼のランチメニューを夜の時間帯に提供し、来店しやすい環境を作り席の回転率の向上を図りました。

ドリンクメニューは、女性を対象とした美容と健康をテーマにコラーゲンドリンク、りんご酢ドリンク、マンゴーミルク等の開発と今流行のハイボールを追加、また冬の限定として「ゆず」をテーマに身体が温まるお酒やソフトドリンクを提供し、客単価アップを図りました。

出店及び退店につきましては、梅の花は、10月に「所沢店（埼玉県）」、12月に「町田店（東京都）」を出店し、69店舗（F. C. 店1店舗含む）、チャイナ梅の花4店舗、かにしげ3店舗、その他店舗は、3月に新業態として「季節釜めし 花小梅（大阪府）」を出店し、2店舗となりました。従いまして、外食事業の全店舗数は78店舗、売上高は137億99百万円（前年同期比102.0%）、営業利益12億69百万円（前年同期比112.1%）となりました。

#### (テイクアウト事業)

出店及び退店につきましては、寿司テイクアウト店は、10月に「尼崎阪神店（兵庫県）」、12月に「ららぽーと横浜 I Y 店（神奈川県）」、6月に「北砂アリオ店（東京都）」を出店し、1月に「梅田大丸店（大阪府）」を閉店し、134店舗となりました。

梅の花テイクアウト店は、4月に「上本町近鉄店（大阪府）」、6月に「なんば高島屋店（大阪府）」を出店し、18店舗となりました。

その他店舗は、10月に大阪工場に隣接した「工場直売所（大阪府）」、3月に「おしとり西の丘店（福岡県）」を出店し、6店舗となりました。

従いまして、テイクアウト事業の全店舗数は158店舗、売上高は80億85百万円（前年同期比98.9%）、営業利益57百万円（前年同期は営業損失1億40百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 連結財務状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ12億43百万円増加し、199億53百万円となりました。これは主に借入金の増加による現金及び預金の増加15億20百万円によるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ9億25百万円増加し、163億14百万円となりました。これは主に借入金の総額が9億27百万円増加したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ3億18百万円増加し、36億38百万円となりました。これは主に四半期純利益3億46百万円の計上によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して、14億50百万円増加し、21億49百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は14億15百万円（前年同期13億78百万円の収入）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益4億93百万円の計上、非資金的費用である減価償却費8億16百万円及びのれん償却費86百万円を計上したこと等によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は8億45百万円（前年同期11億9百万円の支出）となりました。

これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出7億75百万円によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は8億80百万円（前年同期1百万円の支出）となりました。

これは主に金融機関からの短期借入金の純増額1億56百万円、長期借入れによる収入27億50百万円及び長期借入金の返済による支出19億79百万円によるものであります。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、当初発表した予想から修正は行っておりません。

また、連結業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

## 2. その他の情報

### （1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### （2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

適用した簡便な会計処理につきましては、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

### （3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,527,470	1,006,731
売掛金	1,182,925	1,143,656
商品及び製品	60,962	65,984
原材料及び貯蔵品	123,123	117,980
繰延税金資産	111,701	130,419
その他	480,931	509,870
貸倒引当金	△1,858	△1,958
流動資産合計	4,485,257	2,972,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,925,560	6,775,342
機械装置及び運搬具（純額）	203,996	203,393
土地	4,595,376	4,595,857
建設仮勘定	2,920	122,881
その他（純額）	572,184	685,447
有形固定資産合計	12,300,037	12,382,922
無形固定資産		
のれん	837,896	924,455
その他	67,343	72,111
無形固定資産合計	905,240	996,567
投資その他の資産		
投資有価証券	66,372	63,490
長期貸付金	72,609	68,874
繰延税金資産	255,642	365,052
敷金及び保証金	1,748,178	1,743,050
その他	198,180	215,242
貸倒引当金	△78,478	△98,301
投資その他の資産合計	2,262,506	2,357,409
固定資産合計	15,467,783	15,736,898
資産合計	19,953,041	18,709,583

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	569,481	518,803
短期借入金	4,266,700	4,110,100
1年内返済予定の長期借入金	2,690,977	2,662,424
未払金	1,102,076	1,034,717
未払法人税等	23,400	24,630
賞与引当金	138,450	220,900
店舗閉鎖損失引当金	2,152	26,847
ポイント引当金	62,605	40,123
その他	597,378	592,662
流動負債合計	9,453,221	9,231,208
固定負債		
長期借入金	6,198,808	5,456,510
退職給付引当金	148,067	105,618
デリバティブ債務	467,320	538,937
その他	47,427	57,198
固定負債合計	6,861,623	6,158,264
負債合計	16,314,844	15,389,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,434,334	2,434,334
資本剰余金	1,811,323	1,811,323
利益剰余金	△616,799	△934,511
株主資本合計	3,628,858	3,311,146
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,909	766
為替換算調整勘定	△4,725	△4,725
評価・換算差額等合計	△2,815	△3,959
新株予約権	12,154	12,922
純資産合計	3,638,196	3,320,109
負債純資産合計	19,953,041	18,709,583

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	21,699,350	21,884,819
売上原価	6,698,620	6,289,402
売上総利益	15,000,729	15,595,416
販売費及び一般管理費	14,690,599	14,975,147
営業利益	310,130	620,268
営業外収益		
受取利息	11,988	4,290
受取配当金	1,520	1,564
受取保険料	1,225	1,795
受取手数料	16,703	15,849
デリバティブ評価益	—	18,216
雑収入	32,837	27,870
営業外収益合計	64,274	69,587
営業外費用		
支払利息	146,216	137,685
デリバティブ評価損	124,825	—
雑損失	54,872	40,047
営業外費用合計	325,914	177,732
経常利益	48,490	512,124
特別利益		
固定資産売却益	3,377	68
貸倒引当金戻入額	1,930	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	10,669	2,271
新株予約権戻入益	1,309	768
特別利益合計	17,287	3,108
特別損失		
固定資産除売却損	24,943	15,538
投資有価証券評価損	1,604	108
その他	3,202	5,847
特別損失合計	29,750	21,493
税金等調整前四半期純利益	36,028	493,739
法人税、住民税及び事業税	10,834	19,050
法人税等調整額	△122,289	128,127
法人税等合計	△111,454	147,177
四半期純利益	147,482	346,561



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	36,028	493,739
減価償却費	908,111	816,433
減損損失	417	1,699
のれん償却額	86,667	86,678
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△72,912	△82,450
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△75,232	△24,694
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,952	42,448
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15,799	3,902
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	53,225	22,482
受取利息及び受取配当金	△13,508	△5,855
支払利息	146,216	137,685
固定資産除売却損益 (△は益)	21,565	15,469
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,604	108
ゴルフ会員権評価損	—	2,319
デリバティブ評価損益 (△は益)	124,825	△18,216
売上債権の増減額 (△は増加)	13,848	△39,269
たな卸資産の増減額 (△は増加)	14,924	△121
仕入債務の増減額 (△は減少)	△102,188	50,678
その他	129,294	66,570
小計	1,284,736	1,569,609
利息及び配当金の受取額	11,142	2,846
利息の支払額	△146,343	△136,961
法人税等の支払額	△41,331	△20,352
法人税等の還付額	145,119	—
退店補償金の収入	125,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,378,323	1,415,142
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△933	△70,736
定期預金の払戻による収入	120,067	—
有形固定資産の取得による支出	△1,370,456	△775,731
有形固定資産の売却による収入	49,975	2,100
無形固定資産の取得による支出	△20,858	△6,655
固定資産の除却による支出	△7,525	△8,899
投資有価証券の取得による支出	△1,530	△2,342
連結子会社株式の追加取得による支出	—	△120
貸付けによる支出	△5,078	△5,000
貸付金の回収による収入	3,902	2,112
敷金及び保証金の回収による収入	164,439	40,993
敷金及び保証金の差入による支出	△36,404	△17,371
その他	△5,002	△3,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,109,406	△845,417

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	723,624	156,600
長期借入れによる収入	1,640,000	2,750,000
長期借入金の返済による支出	△2,336,607	△1,979,149
リース債務の返済による支出	△1,331	△3,995
割賦債務の返済による支出	△26,238	△14,620
配当金の支払額	△637	△28,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,191	880,277
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	267,725	1,450,001
現金及び現金同等物の期首残高	699,312	699,722
現金及び現金同等物の四半期末残高	967,037	2,149,723

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)

	外食事業 (千円)	テイクアウト 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,525,194	8,174,156	21,699,350	—	21,699,350
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,535,709	101,862	3,637,572	(3,637,572)	—
計	17,060,903	8,276,018	25,336,922	(3,637,572)	21,699,350
営業利益又は営業損失(△)	1,133,008	△140,827	992,181	(682,050)	310,130

当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

	外食事業 (千円)	テイクアウト 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,799,283	8,085,535	21,884,819	—	21,884,819
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,428,993	32,711	3,461,705	(3,461,705)	—
計	17,228,277	8,118,246	25,346,524	(3,461,705)	21,884,819
営業利益	1,269,878	57,180	1,327,058	(706,789)	620,268

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要な事業の内容

(1) 外食事業・・・湯葉と豆腐懐石料理等の飲食店経営及びその付帯事業

(2) テイクアウト事業・・・とうふしゅうまい、湯葉揚げ、寿司等の持ち帰り専門店経営

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「日本」の割合が90%超であるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「日本」の割合が90%超であるため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。